



ユース版

「中・高一貫教育」を検証する

by 先生・生徒

長野県内初の公立中高一貫校として、平成24年に開設された屋代高校附属中学校は、本年3月に初の卒業生を送り出した。内外から注目され続けた生徒達たちは、どのような6年間を送ったのか、先生と生徒の両方からその意識を探ってみた。



鳩祭中の登校風景 提供：宮田雄先生

【ご回答頂いた先生・生徒 敬称略・あいうえお順】

- 石井寛子 (理科、現・柳町中)
- 提坂高廣 (キャリア教育主任)
- 本郷由美 (一貫生の高2・3担任)
- 山辺和徳 (一貫生の中3・高1・2・3担任)
- 山本臣也 (ハンドボール班顧問)

- 赤井志帆 (筑波大・人間学類)
- 岩井太平 (東京学芸大)
- 小林穂乃可 (東京大学理科II類)
- 塚田龍虎 (東京大学文科I類)
- 濱田悠貴 (東北大学歯学部)
- 武藤優奈 (3年生・ハンドボール班)
- 谷保梓樹 (2年生・野球班)

第32代屋代高校・附属中学校長 高澤邦明先生



クローズアップ

○着任されて早3カ月、「ご感想等いかがでしょうか」
屋代高校は、中高一貫、SSH、理数科と普通科が設置されている高校です。ハンドボール班、ギター・マンドリン班等クラブ活動も盛んな高校で、まさに

校は「質実剛健」「文武両道」の伝統を積み重ねてきている高校です。この屋代高校の校長として着任し、その重責を担うことに身の引き締まる思いです。

千葉大学出身、千葉大学で、生態学・都市計画学・環境教育学を学ばれる。下伊那農業高を振出しに県教員になられ、前任の野沢北高では「普通科課題探究」を設定されるなど理数科の活性化にご尽力された。〔屋代高の質にはとても追いつきませんでした〕との補注。

○教職を選択されたのは、高校時代の生物先生の影響とお聞きしました。高校時代の担任は、生物の黒岩喜久雄先生です。バラの栽培で有名な方で、中野市の一本木バラ公園も黒岩先生の育てられたバラがすべて寄付されたところから始まっています。

授業はいわゆる教科書は使わず、先生ご自身が作成したプリント集が、教科書として使われてきました。教科書は持っているのですが、全てが頭に落ちていないので、あえて、別の地味をしつかり予習して意地悪い質問をしてきたのです。ところが、黒岩先生は完璧に質問への解答をされて、その上ではこのことについて、高澤はどうか考えるの？と逆に関連事項を出題されてしまいました。何度も同じ挑戦をしましたが、駄目でした。

○これまでの勤務校では、クラブ活動指導にも情熱を注がれたそうです。初任の下伊那農業高校ではラグビーが盛んな学校でしたし、以降高校時代からのサッカーを中心に、生徒達と切磋琢磨しました。母校須坂高校では、北信で優勝、県ベスト8が最高の思い出です。北信での勤務時代には、スキーの1級も取得しました。

○屋代の生徒達に期待することをお願いいたします。まず、考え方やプロセスを大事にしたいです。正解を早く導きたいと思いません。結果(成果)を気にする(失敗を恐れる)意識があると、学び(学習や探究活動)が小さくまとまり過ぎてしまいます。特に、課題探究などの学びにおいては、「もっと追求して」「失敗を恐れずに取り組んでほしい」とことを願います。うまく結果が出なくても「なぜ、そうだったのか」を考察し、次の探究活動に繋げることが大切だと思います。

○学校の課題等についてはいかがですか。授業の見直しで「旧来型の講義一辺倒な授業になっていないか」ということ。具体的には、①授業時間の20% (約10分) で良いので、生徒同士が討議した上で、頭の中をアクティブにする

時間毎に毎時確保する。②授業の開始時に本日の目標、流れ等を示すユニバーサルデザイン化を進める。③授業の振り返り5分程度で、授業の振り返りを行う。短文2文にまとめ、接続詞で2文をつなぐことで、論理力の育成を目指す、等々です。また、課題の質が屋代高校生・附属中学生に与えているかを絶えず確認しながら、与える必要があります。特に英数国の各教科には課題の質を、各学年のキャリア教育担当者には量の調節を依頼してあります。生徒の心の不調への対応も課題です。生徒相談係・特別支援コーディネーター・養護教諭の三者の連携を図り支援グループが、組織的に機能するようにしたい。このようなことに取り組んで参りたいと思っております。

一貫教育の理念等	先生の検証	生徒の視点
学習の一貫性、継続性	<ul style="list-style-type: none"> 中学・高校の先生との相互連携による授業は、6年間スパンでの学力増進に繋がる。「中学でのあの学びが、高校のここに繋がった」という感想を聞いた。(山辺) 「もっと大学受験を意識したカリキュラムでも良い」も「屋代を選んで正解だった」も、どちらも現状を的確に表している。一貫生・選抜生の両方から満足してもらえる学校が理想。(提坂) 高校での学習を見通して、より詳しく学習すべき所、もう一度見直すべきところ等、教材研究を中・高で共有できた。(石井) 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の頃から高校の内容を学習したり、高校生では教科書だけではなく発展的な内容を扱ったり、表面的な理解にとどまらない深い学習ができ、6年間の一貫教育ならではの強みだと思う。また、6年間クラスは変わっても同じメンバーと過ごすことで、互いに切磋琢磨しつつ、いい刺激を与え合うことができ、受験期に大いにプラスの影響を及ぼしました。(岩井) 素晴らしい先生が揃っていて「活用」させていただき、最高の環境で学習できた。(小林) もっと大学受験を意識したカリキュラムでも良い。(塚田=6月6日の「信毎」紙上)
高校入試のないこと	<ul style="list-style-type: none"> 中3の3月、ニュージーランド研修は、視野を広げ、自らを見つめる好機となった。(山辺) 中3後期は高校生との班活動や語学研修等、幅広い知識・経験を積めた。(石井) 一日1冊の膨大な読書経験が知識を蓄え人間形成に資するものがあつた。(山辺) 	<ul style="list-style-type: none"> 高校入試のない分、この期間に自分の頭で考える授業をしていただいた。(塚田=3月18日「同窓会シンポジウム」で) 高校入試の時期も、班活動や自分のやりたいことを全力で取り組めた。(濱田)
クラブ活動について	<ul style="list-style-type: none"> 中3の10月に「仮入班」して、高校の班活動に参加することから、体力的・競技的に、伸びる時期に活動することで、高1新人戦では高いレベルに達する。(山本) ハンド班の中学からの継続率は100%で「ハンドが楽しい」中学時代から頂点を目指す生徒が増えた。(山本) 	<ul style="list-style-type: none"> 最大5年も違う先輩・後輩たちと学校行事や班活動で関わるという体験ができた。(濱田) 中学の班活を引退後、ブランクなく高校の練習に参加できたことが、今の基礎になっている。高3では辛いことが多かったが、最後にインターハイへの切符をつかめた。(武藤) 大好きな野球班が附属中になかったため、ハンドボールをやったため、現在の野球班には遠回りだったが、ハンドボールを通して大きく成長できた。人生における選択に間違いはないと実感している。(谷保) 班活動、生徒会活動に追われる日々は辛かったが、結局それが一番充実している証拠だと分かった。(小林)
生徒会活動について	<ul style="list-style-type: none"> 中学校生徒会の立ち上げ、高校生徒会の役員に立候補する後輩との討論等を通して、自発性・意欲性に富む校風を樹立できた。(山辺) 	<ul style="list-style-type: none"> 最もこの学校でよかった、と思えることは、中・高生同士の関わり。中学生のときは、部活動や生徒会で高校生と交流して、文化祭にも参加して貴重な体験ができた。高校生としては、中学生のことまで考えて生徒会などを運営することで心の面でも成長することができた。(赤井)
普通科・理数科・一貫生、3様の学校文化	<ul style="list-style-type: none"> クラスマッチ、鳩祭ではクラスに関係なく一緒に応援したり、良きライバルとして競いあったり、とにかく全クラス、仲の良い一貫生だった。(本郷) 大学受験では共通の目標に向かって団円で切磋琢磨している姿が印象的。(本郷) 	<ul style="list-style-type: none"> 最高の仲間たちと出会い、互いに高め合うことができる仲間になったことが最も良かったこと。(濱田) 勉強熱心で、個性的な仲間と出会えた。中学受験をして屋代に入って良かった(塚田=6月6日信毎紙上)

連載・私の附属中時代 (その七)

「一歩一歩」

東京大学理科II類 小林 穂乃可さん (平成30年3月卒)



平成24年篠ノ井西小学校から第一期生として入学、吹奏楽班(クラリネット)で、中3県吹奏楽・北信Bで銀賞。高校進学当初は、医学部志望であったが、SSH講座で講師の先生から聞いた言葉：「これからの化学の分野の可能性とその応用力の広さ」に感動して理学部志望となる。

これは、私が小学1、2年の時の担任の先生が「二分の一成人式」でおっしゃった言葉です。この時から私はこの言葉を常に頭の片隅に置いて9年間過ごしてきましたが、ここでは、その中でも私の中学時代について書きたいと思えます。

班活動あるいは生徒会活動にも没頭しましょう。これらの活動と勉強とに追われる日々は時には辛く感じられるかもしれませんが、結局それが一番充実しているものです。

まだ中学校に入学した頃、国語に対して強い苦手意識を持っていた私は危機感を感じ、思い切った国語の先生のところに相談に行きました。その先生は、教科担任の先生ではありませんでしたが、親身になって話を聞いてくださり、毎日1枚の読解プリントの個人添削もして頂けることになりました。

大学の方は、授業はレベルも高く進みも速いので、空きコマを中心に授業内容の確認をするようにしています。自由時間が増えたとはいえ、一人暮らしでやらないといけないことも多いので、勉強、サークル、一人暮らしの両立はかなり忙しく、平日の帰宅後はあまり勉強時間が確保できません。休日には、課題を最優先にしてやっています。気分転換に外出したりテレビを見たりすることもあります。

授業に集中し、課題にも積極的に取り組むということとは常に心がけてきました。これを続けてきたことは同じくらい、あるいはそれ以上に私の糧となりました。屋代高校・附属中学校には素晴らしい先生方が揃っています。ぜひ積極的に先生のところへ行きましょう。そして、コツコツと積み重ねて苦手科目の克服に努めましょう。最高の環境が整っているのに、それを活用しないのはもった

「私の附属中時代」は、過去6回にわたり他校出身者にご寄稿いただいております。今回から屋代高生に移ります。これまでの皆様にも、改めて感謝を申し上げます。(敬称略) 谷野静絵(後援中)、國枝香南子(白百合学園中)、後藤 尚(開成中)、國枝昌樹(栄光学園中)、増淵岳希(武蔵中)、渡邊太稀(武蔵中)

平成30年度スタート



剣道班の新しい顧問に 佐藤勉先生(数学科)

平成21年以降の過去9年間、インハイ出場5回(団体1、個人4回)、選抜大会出場1回(男女)、輝かしい伝統を誇る剣道班の新しい顧問に、今春長野高から佐藤勉先生が就任された。佐藤先生は、前任の長野高時代から県下では著名な指導者であられる。

○ 前任の長野高でも剣道班を指導されてましたか。
8年間のうち、剣道班と野球顧問の掛け持ちでした。新潟県糸魚川市出身で、小学校1年から剣道を始めました。現在錬士6段、7段を目指して修行中です。長野県には、信州大学理学部)に入学以来お世話になっており、大学でも剣道部でした。屋代高校剣道班出身の中山和巳君(千曲市立五加小教頭)や宮崎史子さん(植生中教諭)らの個性豊かな同期生・先輩に恵まれ、

先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。

先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。

指導によるものだと思います。これからの新人戦、来年度の総体に向け戦う姿勢を前面に出した躍動感のある、見ていてワクワクするような

試合を行えるよう、稽古をしていきたいと思えます。同窓会の皆様、剣道班OBの皆様、ご支援を宜しくお願ひいたします。

青春を生きる……剣道班の後輩諸君に

東京大学法学部3年 宮下 達朗

充実した大学時代を過ごしました。

○ 専門教科について

数学が専門で、教職経験は30年。生徒達の真剣に取り組む姿勢に対して、充実した授業になるように、日々試行錯誤の連続です。着任して3カ月が過ぎましたが、生徒の皆さんは授業でもクラブ活動でも真面目に一生懸命取り組む生徒が多いと思います。そんな生徒たちの努力が結果としてあらわれるように、一緒に努力していきたいと思えます。

○ 6月の高校総体県予選の結果はどうでしたか。
男子団体戦でベスト8をかけて上田と戦い、大将戦で2-3で敗退しましたが、持っている力は充分に出した切れたと思います。生徒達は素晴らしい試合をして、完全に後輩のみなさんには存分に走って欲しいし、後悔をして欲しく

先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。

先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。

80歳にして次々とヒット作を執筆する
経営コンサルタント

児島保彦氏



高校第8回のご卒業、昭和36年早稲田大学商学部を卒業後、大阪セメントに入社。取締役セメント営業部長、常務取締役を経て、オーシー建材工業(株)代表取締役社長。退任後65歳で経営コンサルタントを開業。『儲かる会社は人が1割、仕組みが9割』(ダイヤモンド社・2017年)はアマゾンの実務書部門で出版部数で第1位を獲得、そのほか『当たり前から始めてみよう! プラス思考の社長学』(2005年)、『絶対黒字化できる仕組み』(2018年)などがある。

○ 80歳にして出版部数第1位を獲得、おめでとーございますー
経営コンサルタントとして独立して15年、本年満80歳になります。100歳時代を迎えて、人はどのように生きるべきか、私は人生を2度生きることには挑戦中です。『儲かる会社は人が1割、仕組みが9割』は、海外でも好評をいただいております。台湾では翻

先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。

先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。

先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。
先生は剣道歴を教えてください。

附属中学校 担任先生の紹介

①これまでの勤務校 ②大学での専門分野 ③ご趣味等
④着任所感 ⑤附属中学生への期待

1年A組 岡庭 亜澄 先生

①高森中 櫻ヶ丘中
②英文学
③旅行、バイオリン、コンサート、アナログゲーム
④鳩祭など中高合同で行う行事がとっても新鮮でした。色々なことに感動して吸取できる時期だと思おうので、ぜひ様々なことを体験して、広い視野を持てるようにしてください。あとは、明るいあいさつ!!

1年B組 木松 泰幸 先生

①岡谷南中 伊那東部中
②信州大学附属松本中
③分析化学
④旅行、映画鑑賞

3年A組 吉田 朋史 先生

①飯綱中 北部中 清水中
②天龍中 上田第四中 木島平中
③数学(位相幾何学) ④写真
⑤伝統ある学校に着任し、気が引き締まる思いです。手を動かす、体を動かす、汗をかこう。まずは何でもやってみよう。

3年B組 三石 達也 先生

①屋代南高
②言語学。第二言語習得です。文学も少しやっています。ナサニエル・ホーソンの研究を少ししていました。
③キャンプ、登山などアウトドア全般が好きです。

④中学生と高校生が同じ校舎を歩いていることが、不思議な気持ちでした。⑤頭だけで考えず、実際に行動に移して多くの体験をしていってください。

1年A組 留美(上田市立川辺小から)

中高一貫、一期生が新たな旅立ちを迎え、その進路に注目が集まる中、これまでの努力が実を結び、第7期生として附属中の門をくぐることになりました。満開の桜に祝福され、期待と不安が胸がいっぱいだった入学式から、早いもので3カ月が経とうとしています。

始めは小学校と違った授業スタイルに戸惑い、不安に思うことばかりでした。学校に慣れない緊張からか、帰宅するなり制服のまま寝てしまう息子のそんな様子に変化があらわれたのは、一番の楽しみだった。テニス班に入班した頃です。班活動に打ち込むことで気

あど将棋が好きです。④皆さん、とても明るく勉強熱心な生徒が多いと感じます。仲間と切磋琢磨

できる素晴らしい環境だと思えます。⑤元気に、素直に、前向きに学校生活を送りましょう。

持ちに余裕が生まれ、様子を知らたい親の気持ちを察し、学校生活や電車通学での出来事を楽しく話してくるようになりました。特に高校生との活動は、毎回胸を躍らせ、成長するための良い刺激になっているようです。これから6年間の中学・高校生活で経験していく勉強や班活動など、悩み戸惑う時もあるかと思いますが、心優しい先輩方や信頼できる先生方に頼って、一歩ずつ前に進んでほしいと願っています。屋代での経験は、かけがえのない素晴らしい財産となるはずですよ。親として子どもに望むことはたくさんありますが、将来の夢に少し近づけるように、見守り支えていきたいと思えます。7期生一人一人が、大きく成長し、更なる飛躍をすることを期待しています。

コピトスキー先生の懸賞パズル Mr. Kopitoski's Puzzle



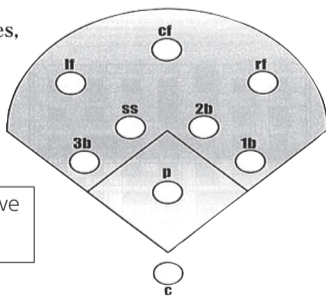
The high school baseball tournament is coming soon, so to celebrate the 100th year in Nagano Prefecture I've brought you an appropriate puzzle to solve!

Baseball Team!

Manager Kopitoski watched from the dugout as his baseball team took the field. It was the ninth inning and his boys, the Yashiro Doves, were locked in a 9-9 tie with the Kiso Seiho Mountaineers. Kopitoski studied the nine players he had on the field: The players were: Simmons, Roe, Blow, Schmoie, Schmidt, Whitt, Kitt, Kent, and Kowalski.

His attention soon became absorbed by the curious fact that his nine players wore on their uniforms the numerals 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, and 9. The more he looked at his players and their numbers, the more he understood. Kopitoski's observations are given below as hints, from which you should be able to deduce who played which position, wearing which number.

- The outfielders' names rhymed.
- The outfielders' numbers, from left field around to right, increased and were consecutive.
- The names of the catcher, third baseman, and left fielder all began with the same letter.
- The numbers of the catcher, first baseman, and right fielder had no curves in them.
- The man with the longest name had the highest number.
- The sum of the outfielders' numbers equaled the sum of the infielders' numbers (pitcher and catcher not being considered infielders).
- The number of letters in the pitcher's and catcher's names, added together, was equal to the sum of their uniform numbers.
- The four infielders, reading from first base around to third, were positioned alphabetically.
- The second baseman's number was half the number of letters in the center fielder's name.



→ Answers must be in a list format from #1 to #9. → Must have their name and position. → Must be in English alphabet. → Spelling is important!

【編集部註】
The three best answers will be rewarded with a 10,000 yen book card each in solving the above puzzle. The dead line will be Aug.17. Both junior and senior high school students can apply. Please visit the alumni office with your answer, or use the post box at the entrance. (The office hour is from 1:30 p.m. to 5:30 p.m.)

編集後記

附属中学校の開校あたり創刊した「ユース版」が第7号を迎えました。お忙しい折、玉稿をお寄せくださいました関係皆様には、心より感謝を申し上げます。また取材については、「鳩が丘新聞」班員(以下の皆様)のご協力をいただきました。
3年 ◎坂口慎太郎、廣間 菜月、原直希、○千野 瑞季
2年 半田実乃理、砂押な つ美、原田航
1年 坂井日佳理、春原衣 沙希、丸石千楓、悠、中澤知香、花輪洋弥
附属中・高校生を問わず「鳩が丘新聞」の編集に興味ある方の入班をお待ちしています。(国語科・吉沢道夫生までお知らせください)